

授業科目	解剖生理学 I (解剖学)		
単位・時間数	2単位 60時間 (68時間)	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 生体構成要素(各種細胞・組織・器官系)について理解する。 2. 正常な人体の形態と構造を理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 30		解剖学総論 骨格系 筋系 循環器系 呼吸器系 消化器系 泌尿器系 生殖器系 人体の発生 内分泌系 神経系 感覚器系 単位認定試験	1. 解剖学の分類、身体各部の名称、人体の基本的構成 組織の種類と基本構造 1. 骨の基本構造、頭蓋骨・脊柱・胸郭・上肢骨・下肢骨・骨盤 1. 骨格筋、運動方向、筋の補助装置 頭部・頸部・胸部・腹部・背部・上肢・下肢の筋 1. 心臓血管系、心臓、動脈系、静脈系、胎児循環、リンパ系、脾臓、胸腺 1. 鼻腔、咽頭、喉頭、気管と気管支、肺、胸膜、縦隔 1. 消化管(口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸)、消化腺(唾液腺、肝臓、脾臓) 1. 腎臓、尿路(尿管、膀胱、尿道) 1. 男性生殖器、女性生殖器 1. 発生の初期過程、胎児と胎盤 1. 内分泌腺とホルモン作用 1. 中枢神経系、末梢神経系 1. 皮膚、味覚器、嗅覚器、視覚器、平衡聴覚器
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院		
4. 授業プリント	講師作成のプリントを配布します。		
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。小テストも評価に加えます。		
6. 講師からのメッセージ	授業には、三色ボールペン(赤、青、緑)、色鉛筆(12色)、蛍光ペン(黄緑、ピンク)を準備してください。		
7. 先輩学生からのメッセージ	覚える内容が多いですが、資料に色を使ったり、マーカーをひいたりしてまとめると、わかりやすくなると思います。		

授業科目	解剖生理学Ⅱ（生理学）		
単位・時間数	2単位 45時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 生体内の器官、組織、細胞の機能およびそのメカニズムを理解し、説明する能力を習得する。</p> <p>2. 生体全体の統合的な正常機能とその背後にあるメカニズムを把握し、これを説明できるようになる。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	4	生理学の基礎知識	<p>1. 細胞の社会</p> <p>2. 組織と器官と器官系</p>
2	4	体液と血液Ⅰ	<p>1. 体液と電解質</p> <p>2. 体液の調節と尿の生成</p>
3	4	体液と血液Ⅱ	<p>1. 腎臓のはたらき</p> <p>2. 血液の成分と役割</p>
4	4	血液の循環	<p>1. 心臓のはたらき</p> <p>2. 血圧と心電図</p>
5	4	呼吸	<p>1. 呼吸器のはたらき</p> <p>2. ガス交換とガスの運搬</p>
6	4	栄養の消化と吸収	<p>1. 消化器系と栄養素の消化</p> <p>2. 栄養素の吸収と代謝</p>
7	4	内蔵機能の調節	<p>1. 自律神経系のはたらき</p> <p>2. 内分泌系のはたらき</p>
8	4	情報の受容と処理	<p>1. 神経細胞の情報伝達</p> <p>2. 感覚</p>
9	4	中枢神経系	<p>1. 脳の領域による機能</p> <p>2. 脳の高次機能</p>
10	4	運動機能	<p>1. 骨格筋の収縮</p> <p>2. 運動のしくみとその調節</p>
11	4	生体防御と適応	<p>1. 生体防御</p> <p>2. 体温調節と発熱</p>
12	1	単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験と講義ノートで評価します。		
6. 講師からのメッセージ	毎回の講義で講義資料とノートを併用した講義ノートを使用します。		
7. 先輩学生からのメッセージ	講義をしっかりと聞き、学習内容を自分でまとめられるよう勉強しましょう。		

授業科目	生化学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 生体を構成し、生命維持に必要な化学物質の構造やその生体内での合成・代謝の調節機能ならびに栄養一般を学ぶことで、生命現象を分子レベルで理解する。</p> <p>2. 病因や病態を把握するための生化学的思考を習得する。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15	30	生体の成り立ちと生体分子 タンパク質の性質 酵素の性質と働き 生体内における糖質の代謝 生体内における脂質の代謝 生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝 生体内における核酸の役割 体液 ホルモン ビタミン 内部環境の恒常性 消化・吸収と栄養価 血液 単位認定試験	<p>1. 生体の成り立ちと最小単位である細胞の役割および生体を構成する物質について学ぶ。</p> <p>1. 我々の体を構成するタンパク質がどのような分子でできているかを学ぶ。</p> <p>1. 酵素の働きとその分類、また臨床での利用法。</p> <p>1. 糖質の種類とその代謝によって作られるエネルギーの産生過程を学ぶ。</p> <p>1. 脂質の種類、体内での脂質の役割およびATP産生の反応過程を学ぶ。</p> <p>1. 生体内でタンパク質を構成するアミノ酸がどのように代謝されているかを学ぶ。</p> <p>1. 遺伝情報はどこに隠されているか、またそれを担っている分子を学ぶ。</p> <p>1. 生体内でもっとも多く含まれる水に溶解している各種成分と体液の役割を学ぶ。</p> <p>1. ホルモンの作用について学ぶ。</p> <p>1. 水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンの種類とその役割について学ぶ。</p> <p>1. 生体の内部環境の維持機構について学ぶ。</p> <p>1. 各栄養素の消化・吸収の過程と食品中のエネルギー量および体の消費エネルギーの計算法を学ぶ。</p> <p>1. 血液に含まれる成分とその役割、および出血が止まるしくみや血液型について学ぶ。</p>
3. 教科書	わかりやすい生化学 ニューヴェルヒロカワ		
4. 参考書	ミースフェルド生化学 東京化学同人		
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 講師からのメッセージ	個々の知識がつながることを目指してください。		
7. 先輩学生からのメッセージ	生化学の学習内容は病態や疾患の原因に結びつくもので、人体の仕組みを理解する上で重要になります。背景を理解していると覚えやすいと思います。		

授業科目	栄養学 I		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 人間にとっての栄養の意義を認識し、食事療法の基本を学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15	30	医療と栄養学 栄養素の種類とはたらき エネルギー代謝 ライフステージと栄養 臨床栄養 健康づくりと食品・食生活 単位認定試験	1. 炭水化物 2. 脂質 3. タンパク質 4. ビタミン、ミネラル 5. 水 1. エネルギー代謝の測定 2. エネルギー消費 3. 栄養所要量 1. 小児期における栄養 2. 成人期における栄養 3. 妊娠期・授乳期における栄養 4. 高齢期における栄養 1. 病院食 2. 栄養補給法 ・経腸栄養法 ・静脈栄養法 1. 食品と食品群 2. 食生活指針と健康日本21
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)			
7. 先輩学生からのメッセージ	教科書を中心に授業が進められます。重要だといわれるところをメモしながら授業に臨むとよいと思います。		

授業科目	栄養学Ⅱ（食事療法）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 人間にとっての栄養の意義を認識し、食事療法の基本を学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	栄養食事療法 栄養食事療法の実際	1. 栄養食事療法の概要 2. 医療・福祉の場における栄養食事療法 1. 病人食の形態的分類
2	2	症状を持つ患者の栄養食事療法 呼吸器疾患患者の栄養食事療法	1. 各症状別の栄養食事療法 1. 肺炎・急性呼吸不全・慢性閉塞性肺疾患
3	2	循環器疾患の栄養食事療法	1. 高血圧症、動脈硬化症 2. 虚血性心疾患、心不全
4	2	消化器疾患患者の栄養食事療法	1. 胃、十二指腸潰瘍 2. クロウン病、潰瘍性大腸炎 3. 肝臓・胆嚢・膵臓疾患 4. 胃切除術後
5	2	腎疾患の栄養食事療法	1. 腎臓病食全般・腎不全・透析食 2. 糖尿病性腎症
6	2	栄養代謝疾患患者の栄養食事療法	1. 肥満 2. 糖尿病
7	2	妊産婦・小児・高齢者の栄養食事療法	1. 妊産婦の栄養と食事 2. 小児・小児疾患患者の栄養と食事 3. 高齢者の栄養と食事
8	1	単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂		
4. 参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院		
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）			

授業科目	微生物学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 各種感染症の発生機序および感染予防について理解する。</p> <p>2. 医療の現場で重要な消毒・滅菌の知識を理解する。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 15	30	微生物の種類および感染・発病に関わる因子	1. 微生物の種類、特に細菌の種類と特徴 2. 感染と発病について
		微生物と滅菌・消毒	1. 滅菌・消毒の方法と効果
		感染症の予防と細菌学的検査法	1. 感染症新法について 2. 感染予防策 3. 細菌学的検査法の種類と検体の扱い
		免疫応答と感染防御	1. 免疫の種類と抗原・抗体およびその反応様式 2. ワクチンの種類 3. 免疫病 4. 自己免疫疾患
		病原微生物と感染症の関連、感染因子	1. グラム陽性および陰性球菌・桿菌 2. リケッチア 3. クラミジア 4. ウイルス（特徴と感染） 5. 真菌
		単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）			
7. 先輩学生からのメッセージ	重要なことは配布資料にまとめてあるので、その資料を上手く活用して勉強しましょう。		

授業科目	病態学（病理学）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 疾病の成り立ちと回復促進に必要な病因と病変の特徴を理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15	30	病理学の領域	1. 病理学、人体病理学、実験病理学 2. 世界の医学史、日本の医学史
		退行性病変	1. 概説 2. 萎縮、糖代謝障害、脂質代謝障害、タンパク質代謝障害、無機物質代謝障害、色素代謝障害、細胞死、全身死
		循環障害	1. 血液循環障害 2. リンパ・体液の循環障害
		奇形	1. 奇形総論 2. 奇形各論
		進行性病変	1. 概要 2. 肥大、増生、再生、化生、移植、創傷治癒、異物の処理
		炎症	1. 概要 2. 急性炎症、慢性炎症、免疫、特殊性炎
		腫瘍	1. 概要 2. 腫瘍の形態学、腫瘍の生化学、発癌、悪性腫瘍の予防・治療
		病因論	1. 外因、内因
		単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 先輩学生からのメッセージ	配布プリントをよく読んで復習しましょう。病態治療学とあわせて勉強すると理解が深まります。		

授業科目	病態治療学 I (循環、呼吸)		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 病因と病変の特徴を理解し、系統別疾患の病態およびその治療について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 5	10 5	呼吸器疾患の原因、病態、 症状 内科的診断	1. 呼吸器の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 胸部X-P、気管支鏡、喀痰検査、呼吸機能検査、動脈血ガス分析 等 4. 主な呼吸器疾患とその治療 肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患、結核、肺がん
6	2	呼吸器疾患の外科的診断と 治療	1. 主な疾患とその外科的治療 肺がん、気胸、開胸術
7 ~ 12	12 12	循環器疾患の原因、病態、 症状 内科的診断	1. 心臓の構造と機能 2. 循環機能低下と身体への影響 3. 症状と病態生理 4. 診断と検査 心電図、心エコー、心臓カテーテル法 等 5. 主な疾患とその治療 虚血性心疾患、心不全、高血圧症、不整脈、メタボリック症候群、 ペースメーカー、薬物療法 等
13	2	循環器疾患の外科的診断と 治療	1. 主な疾患とその外科的治療 心筋梗塞、弁膜症、大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、冠 状動脈バイパス術、弁置換術、血管再建術 等
14	2	胸部（乳房）疾患の外科的 診断と治療	1. 乳房の構造と機能 2. 診断と検査 画像診断、組織診 3. 主な疾患とその外科的治療 乳がん
15	2	まとめ・単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [3] 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [9] 女性生殖器 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。 (呼吸器内科35点・呼吸器外科7点・循環器内科44点・循環器外科7点・胸部外科7点)		
6. 備考(学生への メッセージ等)	解剖生理学の知識を想起しながら繰り返しテキストを読み、理解を深めましょう。呼吸器疾患、循環器疾患、胸部(乳房)疾患の病態・治療について学び、看護に活かしましょう		
7. 先輩学生からの メッセージ	呼吸器・循環器の解剖をふり返りながら授業に臨み、理解を深めましょう。		

授業科目	病態治療学Ⅱ（消化器、脳神経）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 病因と病変の特徴を理解し、系統別疾患の病態およびその治療について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 4	8	消化器疾患の原因、病態、 症状 内科的診断と治療	1. 消化器の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 腹部X-P、造影検査、内視鏡、超音波、肝生検、腹腔鏡検査 等 4. 主な疾患とその治療 胃がん、胃潰瘍、大腸・小腸の疾患、肝臓・胆嚢・膵臓の疾患
5 ～ 7	6	消化器疾患の外科的診断と 治療	1. 主な疾患とその治療 食道がん、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝臓がん、膵臓がん、 胆石 等
8 ～ 10	6	脳神経疾患の原因、病態、 症状	1. 脳・神経の構造と機能 2. 血管系の循環障害 3. 主な疾患の病態生理と症状 脳梗塞、髄膜炎、筋萎縮性側索硬化症、認知症、パーキンソン病 等 4. 診断・検査・治療 CT、MRI、脳波検査 等 薬物療法、リハビリテーション 等
11 ～ 14	8	脳神経疾患の外科的診断と 治療	1. 診断と検査 脳血管撮影 等 2. 主な疾患とその治療法 脳出血、くも膜下出血、頭部外傷、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍 等
15	2	まとめ・単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価表方法	筆記試験により評価します。 (消化器内科30点・消化器外科20点・脳神経内科20点・脳神経外科30点)		
6. 備考（学生への メッセージ等）	解剖生理学の知識を想起しながら繰り返しテキストを読み、理解を深めましょう。 消化器疾患、脳神経疾患の病態および治療について学び、看護に活かしましょう。		
7. 先輩学生からの メッセージ	資料配布がない单元もあるので、授業をしっかりと聞いてノートを取りましょう。頑張ってください。		

授業科目	病態治療学Ⅲ（内分泌・代謝、血液、腎・泌尿器、女性生殖）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 病因と病変の特徴を理解し、系統別疾患の病態およびその治療について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 4	8	内分泌・代謝疾患の原因、病態、症状 内科的診断と治療	1. 内分泌・代謝器官の構造と機能 2. 内分泌機能低下・亢進による疾患 3. 診断と検査 4. 主な疾患とその治療 糖尿病、高脂血症、膠原病、アレルギー、内分泌疾患、インスリン、インクレチン関連薬
5 ～ 8	8	血液・造血器疾患の原因、病態、症状 診断と治療	1. 血液・造血器の機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 骨髄穿刺、生検 4. 主な疾患とその治療 貧血、血小板減少症、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫 化学療法、造血幹細胞移植、輸血療法 等
9 ～ 12	8	腎・泌尿器疾患の原因、病態、症状 診断と治療	1. 腎・泌尿器の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 4. 主な疾患とその治療 腎不全、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん、結石、膀胱炎、排尿障害など
13 ～ 14	4	女性生殖器疾患の原因、病態、症状 診断と治療	1. 女性生殖器の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 病理、画像、内視鏡検査など 4. 主な疾患とその治療 子宮筋腫、子宮内膜症、月経異常、子宮がん
15	2	まとめ・単位認定試験	
3. 教科書		系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [4] 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [9] 女性生殖器 医学書院	
4. 参考書			
5. 成績評価方法		筆記試験により評価します（内分泌他28点・血液他28点・腎他28点・女性生殖16点）	
6. 備考（学生へのメッセージ等）		身体の構造や機能、疾病の成り立ちなど1年次の学習内容と関連させながら学び、看護に活かしましょう。	

授業科目	病態治療学Ⅳ（運動、感覚器、歯・口腔、外傷）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 病因と病変の特徴を理解し、系統別疾患の病態およびその治療について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2 3 4 5	10	運動器疾患の原因、病態、症状、診断と検査、治療	1. 運動器の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 脊髄造影、X-P、CT、MRI、関節鏡 など 4. 主な疾患とその治療 骨折、脱臼、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症、脊髄損傷、椎間板ヘルニア
6 7	4	耳鼻咽喉疾患の原因、病態、症状 診断と検査、治療	1. 耳鼻咽喉の構造と機能 2. 症状と病態生理 めまい、聴力障害、鼻出血、嚥下障害 3. 診断と検査 4. 主な疾患とその治療 副鼻腔炎、中耳炎、耳鼻科領域のがん
8 9	4	眼疾患の原因、病態、症状 診断と検査、治療	1. 眼の構造と機能 2. 症状と病態生理 3. 診断と検査 4. 主な疾患とその治療 網膜剥離、白内障、緑内障 他
10 11	4	皮膚疾患の原因、病態、症状 診断と検査、治療	1. 症状と病態生理 2. 診断と検査 3. 主な疾患とその治療 アトピー性皮膚炎、白癬、疥癬、熱傷・火傷
12 13	4	歯・口腔疾患の原因、病態、症状 診断と検査、治療	1. 症状と病態生理 2. 診断と検査 3. 主な疾患とその治療 顎関節症、う歯、歯周病 他
14	2	外傷・ショック	1. 症状と病態生理 2. 診断と治療
15	2	まとめ・単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [13] 眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [12] 皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [15] 歯・口腔 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します（運動器35点・耳他15点・眼15点・皮膚15点・歯他15点・外傷他5点）		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	身体の構造や機能、疾病の成り立ちなど1年次の学習内容と関連させながら学び、看護に活かしましょう。		

授業科目	病態治療学Ⅴ（小児、母性）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 小児の身体生理の特徴について理解する。 2. 小児の健康障害、疾病とその原因、症状、診断、治療について理解する。 3. 妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児にみられる異常について理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 7	14	小児の身体生理および健康障害や疾病	1. 事故・外傷、虐待 2. 感染症 3. 消化器疾患 4. 新生児の疾患 新生児仮死、低血糖、高ビリルビン血症、低出生体重児 5. 免疫・アレルギー疾患、呼吸器疾患 6. 血液・造血器疾患、悪性新生物 7. 染色体異常、神経疾患 8. 腎・泌尿器疾患 9. 代謝・内分泌疾患 10. 循環器疾患
8 ～ 14	14	妊娠、分娩、産褥の異常	1. 妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、多胎妊娠、流早産、感染症 2. 産道・娩出力・胎児および附属物の異常、弛緩出血 産科手術 3. 産褥熱、産褥血栓症、乳房の異常
15	2	まとめ・単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します（小児50点・母性50点）		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	小児の身体生理について、理解を深めましょう。 小児の健康障害や疾病、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児の異常について学び、看護に活かしましょう。		

授業科目	病態治療学VI (精神)		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 精神疾患の病態および治療について体系的に理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	精神疾患の病態、症状、診断、治療	1. 精神の健康と障害 2. 精神症状論と状態論 3. 精神障害の診断と分類 DSMとICD
2	2		1. 統合失調症 2. 神経発達障害群 3. 心身症
3	2		1. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群、パーソナリティ障害 2. 器質性精神障害 1) 認知症と症状精神病 2) 精神作用物質使用による精神および行動の障害 3. てんかん
4	2		1. 気分障害 2. 神経症性障害 ストレス関連障害および身体表現性障害
5	2		1. 精神作用物質使用による精神および行動の障害 2. 精神科における治療、薬物療法 3. 電気けいれん療法
6	4		1. 精神療法 個人療法、集団精神療法、家族療法
7			2. 環境療法・社会療法 3. 社会の中の精神障害 4. 精神障害と法制度
8	1	単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考 (学生へのメッセージ)	繰り返しテキストを読み、理解を深めましょう。 精神疾患の病態および治療について学び、看護に活かしましょう。		

授業科目	病態治療学演習（病態関連図）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 臨床判断能力を養うために、事例をもとに病態関連図を作成し、疾病・検査・治療の関連性を学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	事例提示	1. 学習の進め方、関連図の書き方 2. 事例提示（呼吸、循環、消化器、脳）
2	2	個人学習	1. 個人ワーク
3 4 5	6	グループ討議	1. 事例検討 2. 病態関連図の作成 3. 発表準備
6	2	発表準備	1. 発表準備
7 8	3	グループ発表・まとめ	1. グループ発表・学びの共有 2. まとめ
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [3] 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院		
4. 参考書	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 中央法規		
5. 成績評価方法	評価表に基づき評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	個人ワーク、グループワークは積極的に取り組みましょう。		

授業科目	薬理学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 病気の予防や治療において大きな役割を担う薬の本質と治療薬の概要を知り、薬物治療における看護師の役割などを理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	項目・内容
1 ~ 15	30	薬理学総論 薬理学各論 単位認定試験	1. 薬とは：麻薬や毒劇薬の取り扱い 2. 薬理作用と薬効：受容体の機能 等 3. 薬の有害作用：くすりとリスク 4. 医薬分業：薬を正しく服用するために 1. 抗感染薬・消毒薬：感染症治療に関する基礎事項と治療薬 2. 免疫治療薬：免疫反応のしくみと治療薬 3. アレルギーおよび炎症に関する薬物：炎症と治療薬 4. 末梢での神経活動に作用する薬物：自律神経系と薬の作用 5. 中枢神経系に作用する薬物：中枢神経系のはたらきと薬物 6. 心臓・血管系に作用する薬物：強心薬等の薬物について 7. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物：気管支喘息、消化性潰瘍治療薬について 8. 物質代謝に作用する薬物：糖尿病治療薬、ホルモン薬、ビタミン製剤について 9. 抗がん薬：がん治療に関する基礎知識と治療薬 10. 外用薬：皮膚に適応する薬物と眼科外用薬 11. 救急の際に使用される薬物：救急蘇生法における薬物治療 12. 漢方薬：漢方医学と漢方製剤 13. 検査薬・診断薬：検査に使用する薬について
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	薬の作用や薬効を学び、看護に活かしましょう。		

授業科目	保健医療論		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 患者中心の医療：インフォームドコンセントによる自己決定とそれを支えるチーム医療の理解</p> <p>2. 医学の進歩とその問題点：科学としての医学・看護学に必要なEBM、EBNの医療</p> <p>3. 医療・保健・福祉の連携による人間医療の基本となる人権意識と倫理観</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2		援助と共感
2	2		医学の起源
3	2		私たちの生活と医療
4	2		現代医療技術
5	2		インフォームド・コンセント
6	2		医療を見つめなおす新しい視点
7	2		健康概念の変化
8	1		単位認定試験
3. 教科書	系統看護学講座 別巻 総合医療論 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	医療者として必要な知識と技術を身につけるよう、具体的な事例を考える習慣から始めましょう。		
7. 先輩学生からのメッセージ	学習内容は、医療従事者として大切な知識を学びます。予習・復習に取り組み、しっかり理解していきましょう。		

授業科目	健康支援と保健活動		
単位・時間数	2単位 45時間	開講時期	2学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
1. 人口統計の推移から社会の変化やそれに伴う保健問題を理解する。 2. 1. の問題を解決するための保健活動の具体策および活動の実際について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 8	16	公衆衛生とは 健康と環境、疫学的方法 健康の指標 感染症とその予防 食品保健と栄養 生活環境の保全 医療制度	1. 公衆衛生の概念・歴史 2. 健康とは 1. 健康の多要因 2. 集団検診 1. 人口問題・人口動態 2. 健康状態と受療状況 1. 感染症とは 2. 感染症の種類 3. 感染症の動向と感染症法、感染症予防対策 1. 食品の安全 2. 食品衛生管理 1. 地球環境 2. 生活環境の安全、ゴミ・廃棄物の処理 1. 医療保障 2. 医療保険 3. 高齢者医療制度 4. 介護保険
9 ~ 13	10	地域保健活動 母子保健 学校保健 生活習慣病・難病 健康教育とヘルスプロ モーション	1. 地域保健法の理念 2. ヘルスサービスの方向 1. 母子保健の現状と母子保健サービス 2. これからの母子保健（子育て支援と児童虐待防止） 1. 学校保健制度 1. 生活習慣病対策 2. 難病対策 1. 健康教育とヘルスプロモーションの定義 2. ヘルスプロモーションの方法
14 15	4	精神保健福祉 産業保健	1. 精神保健福祉の現状と精神保健福祉サービス 2. これからの精神保健福祉 1. 労働環境と健康 2. 労働衛生管理のしくみ 3. 職業性疾病とその予防・対策
16 ~ 22	2 2 2 2 2 2 2	地域における保健活動 の実際	1. 鳥取市保健所の活動 2. 保健所保健師の活動 3. 市町村保健師の活動 4. 鳥取療育園（児童発達支援等多機能型事業所）の活動 5. コミュニティナーズの活動 6. 学校における養護教諭の活動 7. 新たな感染症対策
23	1	単位認定試験	1. 単位認定試験
3. 教科書	社会・環境と健康公衆衛生学 医歯薬出版		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生統計協会		
5. 成績評価方法	レポート・筆記試験		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	地域での保健活動に関する総論（基礎的知識）と各論（活動の実際）を学習します。		

授業科目	関係法規		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 看護職者の社会的責務と業務上の責任について理解する。 2. 医療や生活環境、労働に関する法規を学び、生活者の健康を守る制度について理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2 3	6	医療従事者・医療に関する法律	1. 法規の概念 2. 看護法 3. 医師法・医療法 4. 関係資格法
4	2	薬務に関する法律	1. 薬機法 2. 麻薬・向精神薬・大麻・覚せい剤等
5	2	食品安全に関する法律	1. 食品衛生法 2. 食の安全・営業
6	2	環境保全に関する法律	1. 環境法 2. 公害の規制法 3. 水道・ごみ・廃棄物
7	2	労働法と社会基盤整備	1. 労働法 2. 社会基盤整備等
8	1	単位認定試験	1. 単位認定試験
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令 医学書院		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生統計協会 看護六法 新日本法規		
5. 成績評価方法	筆記試験 看護法・医事法：44点 薬務：14点 食品衛生：14点 環境保全：14点 労働：14点 * 配点は多少変更することがあります。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	保健医療や生活環境、労働等、暮らしに関わる制度やサービスの根拠法令について学びましょう。そして、それらがわたしたちの健康を守っていることに気づきましょう。		

授業科目	社会福祉Ⅰ（社会保障制度）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 人々の人権や生活を守り、健康の保持・増進をはかるために、社会福祉と社会保障制度について学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2	4	社会保障制度と社会福祉	1. 社会保障の概念および体系、内容の概要 2. 社会福祉サービスとサービス提供の仕組み 3. 社会福祉に係る法律（福祉6法）や財政 4. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の歴史と動向 5. 社会福祉に関する資格とその役割、働く場 6. 社会福祉協議会の役割
3	2	社会福祉実践と連携	1. 社会福祉と医療・看護の連携 2. 多職種連携とその方法、実際
4 5	4	医療保障	1. 国民皆保険と保険診療の仕組み 2. 健康保険・国民健康保険・高齢者医療制度・公費負担医療
6	2	介護保障	1. 介護保険制度 2. 介護保険の課題と展望
7	2	所得保障	1. 年金保険制度
8	2		2. 労働保険制度（労働者災害補償保険・雇用保険）
9 10	2 2	貧困・低所得者施策	1. 生活保護制度 2. 生活福祉資金貸付、生活困窮者自立相談
11 12	4	分野別社会福祉施策	1. 高齢者福祉：在宅・施設福祉事業、認知症対策、高齢者虐待防止 2. 障害者福祉：障害者基本法、障害者総合支援法によるサービス
13	2		1. 児童福祉：児童福祉法、児童虐待防止
14	2	災害福祉支援	1. 鳥取県災害派遣福祉チーム（鳥取県DWA T）とその活動
15	2	学習のまとめ 単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	筆記試験により評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	看護の対象の自立した生活およびその安定化をはかる様々な公的な制度を学び、看護実践につなげましょう。		

授業科目	社会福祉Ⅱ（社会資源の活用）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	3学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 既習の知識を統合して、事例をもとに実際に行われている社会福祉と社会保障制度の活用方法を学ぶ。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 5 5	10	事例に応じた 社会保障制度	1. 学習の進め方 2. 事例提示（小児、母性、精神、老年） 3. 事例（小児・母性・精神・老年）の問題点の抽出 4. 活用できる社会資源の抽出
6	2	発表準備	1. 1事例についてまとめる
7 5 8	3	グループ発表・ まとめ	1. グループ発表・学びの共有 2. まとめ
3. 教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令 医学書院		
4. 参考書	各自が必要な図書や文献を活用する。		
5. 成績評価方法	学習過程は評価表で評価します。		
6. 備考（学生への メッセージ等）	授業はグループ学習で行います。 患者および対象者を守るためだけでなく、大切な家族を守り、自分を守るためにも制度を しっかりと理解し必要時に活用できるように、主体的に学習をすすめましょう。		